

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
2 部 2 年	保育内容・環境	重安 智子	
サブタイトル	領域「環境」のねらいと内容の理解	単 位 数	1
授業形態	演習		
開講時期	前期	出席要件	4／5 以上
到 達 目 標			
1 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の領域「環境」のねらい・内容・内容の取扱いについて理解し、説明することができる。 2 身近な環境と子どもとの関わりの具体的な姿より、領域「環境」の教育的意義について理解し、保育を構想できる。 3 環境の整備、安全管理について学び、指導を行う際の具体的配慮事項について理解することができる。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
・ 幼児教育に対する情熱・使命感・責任感をもち、子どもの発達に即した援助を行うための専門知識を習得する。 ・ 多様な協働学習や実践的な学びを通して、豊かな人間性を身につける。 ・ カリキュラムマップの「保育を構築する」の 2 年前期に位置づいており、保育内容の中核をなす科目として、確かな学びの構築を図る。			
授 業 の 方 法			
1 子どもの身近な環境に関する基礎理論を幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、事例や映像を通して実践的に学ぶ。 2 情報収集、グループワーク、発表などのアクティブ・ラーニングの授業展開で主体的・対話的で深い学びにつなげる。 3 身近な環境に親しむための直接的・具体的体験を通して、感性を豊かにするとともに、実践的知識・技能を習得する。			
テキスト・教材・参考図書			
テキスト：『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 フレーベル館 2018 テキスト：『保育所保育指針解説』 厚生労働省 フレーベル館 2018 年 テキスト：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府 文部科学省 厚生労働省 フレーベル館 2018 年			
評 価 の 要 点			総合評価割合
・ 領域「環境」のねらい・内容等について理解し、説明することができる。 ・ 保育環境の教育的意義について理解し、説明することができる。 ・ 情報収集、グループワーク、体験活動等へ積極的・意欲的に参加し、発言したり学びの内容を説明したりすることができる。 ・ 授業の振り返りをまとめることができる。			定期試験 60% ワークシート・レポート・振り返りシート、発表等 40%
履修上の注意事項や学習上の助言など			
・ 日ごろから身近な「環境」に関心をもつこと ・ 他者から学ぶ気持ちを持ち、グループ討議では積極的に発言をすること ・ ノートの指定・提出はしない			

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1 回	<ガイダンス・「環境」とは> ・授業の目的、内容、進め方について理解する。 ・保育の基本及び環境を通して行う教育、領域「環境」について理解する。	授業の目的・概要理解 保育の基本理解 領域「環境」の理解
2 回	<3 歳未満児の領域「環境」> ・乳児保育における環境について理解する。 ・1 歳以上 3 歳未満児における環境について理解する。	乳児保育、1 歳以上 3 歳未満児の「環境」理解
3 回	<自然環境：身近な植物 ①> ・身近な植物について理解する。 ・時期や年齢に応じた栽培計画について理解する。 ・夏野菜の栽培の方法について調べ、資料をまとめる。	身近な植物の理解 栽培方法の理解 情報収集力 協働性
4 回	<自然環境：身近な植物 ②> ・夏野菜の栽培の方法を発表する。 ・夏野菜を植える。	栽培方法の理解 協働性 発表力 生命尊重の態度
5 回	<自然環境：身近な植物 ③> ・幼児が体験する内容や指導上留意すべきことを考える。 ・夏野菜の指導計画を作成する。	体験内容の理解 指導計画作成の理解と計画力 文章表現力
6 回	<3・4・5 歳児の領域「環境」のねらい、内容 (5) ～自然環境～> ・領域「環境」のねらいを理解する。 ・内容 (5) の理解を通して、身近な動植物について考える。 ・具体的な指導内容、環境について学ぶ。	3・4・5 歳児の領域「環境」のねらいの理解 内容 (5) の理解 安全な環境の理解 指導法の理解
7 回	<自然環境：身近な小動物や昆虫等> ・身近な小動物・昆虫等について理解をする。 ・園で飼育する小動物や昆虫等の飼育計画について理解する。 ・小動物や昆虫等の飼育方法を調べ、発表する。	飼育方法の理解 情報収集力 文章表現力 発表力
8 回	<領域「環境」の内容 (1) (3) (4) ～自然環境～> ・内容 (1) (3) (4) の理解を通して、自然との関わりを考える。 ・具体的な指導内容、環境について学ぶ。	内容 (1) (3) (4) の理解 指導法の理解
9 回	<領域「環境」の内容 (2) (7) (8) ～物的環境～> ・内容 (2) (7) (8) の理解を通して様々なものの性質や仕組みについて考える。 ・身近な「もの」の環境やそれを利用した具体的な指導について学ぶ。	内容 (2) (7) (8) の理解 安全管理の理解 指導法の理解
10 回	<領域「環境」の内容 (9) (10) ～数量、図形、標識、文字～> ・内容 (9) (10) ～数量、図形、標識、文字などについて考える。 ・具体的な指導内容、環境について学ぶ。	内容 (9) (10) の理解 指導法の理解
11 回	<領域「環境」の (6) (11) (12) 地域の文化や伝統、行事、情報等> ・内容 (6) (11) (12) を通して、子どもが地域と関わる意義について考える。 ・園生活の中での文化的環境や伝統について理解する。	内容 (6) (11) (12) の理解 指導法の理解
12 回	<物的環境：保育室の壁面 ①> ・壁面をグループで考え、作成する。	思考力 表現力 感性 協働性
13 回	<物的環境：保育室の壁面 ②> ・保育室の環境のあり方について理解をする。 ・壁面をグループで考え、作成し発表する。	思考力 表現力 感性 協働性 発表力
14 回	<環境教育・SDGs> ・地球環境や環境教育の具体的内容について理解する。 ・幼児教育施設での具体的な取り組みについて調べ、発表する。	SDGs の理解 環境教育の理解 情報収集力 分析力 発表力
15 回	<まとめ> ・領域「環境」のねらい・内容・及び内容の取り扱いについて理解をする。 ・人的環境としての保育者の役割について理解する。	領域「環境」理解 豊かな感性 指導力
試験	定期試験	